

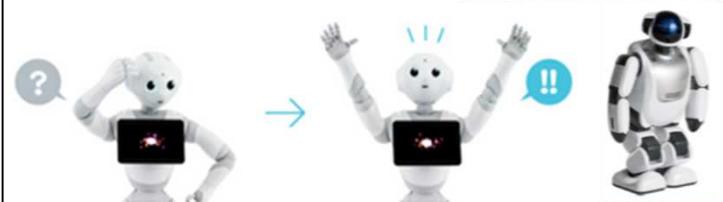
認知症サミット以降の国際的動向について

- 英国において、平成25年12月「G8 認知症サミット」が開催、日本から土屋厚生労働副大臣が出席。
- 英国は、世界に認知症への資金投資などの呼びかけを行うため、世界認知症特使と世界認知症会議を設立、メンバーの一人に日本医療政策機構代表理事黒川清氏が任命。
- 平成26年度、サミットの後継イベントとして①英国、②加仏共同、③日本、④米国の順でそれぞれ国際会議が開催。
- 平成27年3月には、WHO主催の総括的な大臣級会合が開催された。

| 日程 | 開催 | テーマ |
|---------------|-----|--------------------------------|
| 6月18～19日 | 英国 | 「社会的影響への投資」 |
| 9月11～12日 | 加仏 | 「学術界と産業界のパートナーシップ」 |
| 11月5～7日 | 日本 | 「新しいケアと予防のモデル」 |
| 平成27年2月9～10日 | 米国 | 「アルツハイマー病研究」 |
| 平成27年3月16～17日 | WHO | 認知症に対する世界的アクションに関する第1回WHO大臣級会合 |

認知症サミット 日本後継イベント

平成26年11月5、6日



～新たなケアと予防のモデル～



- **トピック1：地域における認知症予防とケア**
～認知症の状態に応じた適切な予防とケア～
 - 医療・介護・リハビリ・社会包摂等が、認知症の各ステージに応じて、適切かつ切れ目なく連携
 - 早期診断・早期対応

- **トピック2：認知症予防とケアへの科学的アプローチ**
 - 認知症は予防が可能

- **トピック3：認知症にやさしいコミュニティとICTの活用**
 - 認知症の人がより良く生きていける社会の実現
 - 「認知症の人に優しい社会」の実現のため、企業、行政機関、教育機関、住民が協働
 - 介護者の負担軽減のためのロボット技術の発展

- **トピック4：将来に向けた課題**
 - 「認知症の人に優しい社会」の構築のため、新たなケアと予防のモデルの確立
 - 認知症の病態解明を進め、予防や治療の研究開発に繋げるための国際連携も視野に入れたコホート研究
 - 認知症への理解を促進するため、世界規模で、認知症サポーターのような普及啓発

日本の認知症施策

※H27.3「認知症に対する世界的アクションに関する第1回WHO大臣級会合」に厚労審が出席

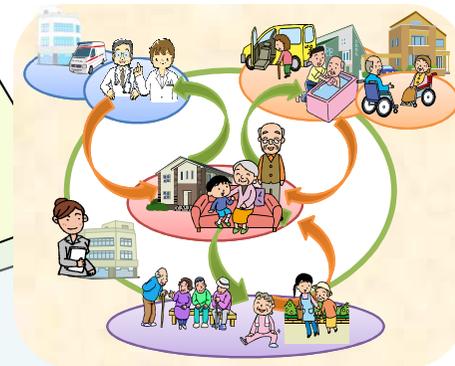
政治的なリーダーシップ



「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」の推進

認知症等高齢者にやさしい地域

「地域包括ケアシステム」の確立



認知症サポーター



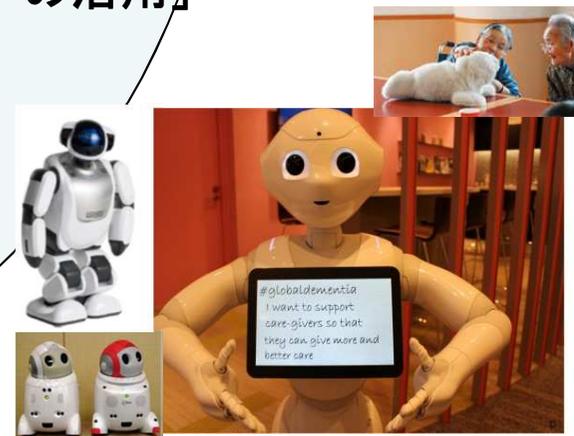
「2014年末580万」養成終了
⇒
「2017年度800万人」に目標引き上げ

認知症ケアとリスク軽減

「認知症次世代コホート研究」
「ICTの活用」
「ロボットの活用」
の推進

「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ」
「公的介護保険」
等 知見を世界と共有

公衆衛生システム



世界的な認知症に関するフレームワーク

- ◆ 「世界的な認知症に関するフレームワーク」は、3月16・17日、スイス・ジュネーブで開催された「認知症に対する世界的アクションに関する第1回WHO大臣級会合」において、認知症に取り組む各国や各団体が、自らのコミットメントを表明したものの。
- ◆ それぞれのコミットメントは、「ケア」「治療」「リーダーシップ」「開かれた科学とデータ」「研究」「権利」「リスク軽減」の7つの軸に従って集約された上で、共有・公表されたところであり、今後、各国・各団体は、当該コミットメントに沿って認知症施策を推進していくこととなる。
- ◆ 「世界的な認知症に関するフレームワーク」のうち、日本政府による提案は以下のとおり。

| Area 分野 | Proposal of Japan 日本の提案 |
|-----------------------|---|
| Care ケア | <ul style="list-style-type: none"> ▪ Japan, based on the long-time experiences of dementia care, will contribute to the world by sharing systems such as a training for care practitioners in Asian nations and beyond. ▪ 日本はこれまで培ったケアの経験をもとに、ケア従事者の研修システムなどをアジア圏域やさらにこれを超えて世界と共有し、世界へ貢献する。 ▪ Japan will also explore the potential of the new care devices using ICT and robotics, and consider to share accumulated knowledge and experiences of dementia care. ▪ また、日本は、ICTやロボット等を利用した新しいケアの可能性を追求し、蓄積された経験や知識を世界と共有することを検討する。 |
| Cure 治療 | <ul style="list-style-type: none"> ▪ Japan will aim at creating a domestic registry system for persons with dementia, considering possible collaboration with global partners which intend to establish the same registry. ▪ 日本国内で(将来の臨床研究を念頭に置いた)認知症の人のレジストリシステムの構築を目指しつつ、世界各国の同様の取組と連携を図れるよう各国と検討する。 |
| Leadership リーダーシップ | <ul style="list-style-type: none"> ▪ National Dementia Plan ▪ 認知症に関する国家的なプラン(「認知症施策推進総合戦略」) |

| Area 分野 | Proposal of Japan 日本の提案 |
|-------------------------|--|
| Research 研究 | <ul style="list-style-type: none"> ▪ Japan will launch a prospective cohort study with high quality and high efficacy and with tens of thousands of people to identify the personal risk factor and protective factor for developing dementia, and implement a risk reduction strategy through the possible collaborative research with the world. ▪ 日本は高品質・高効率な1万人規模の前向きコホート研究を開始し、可能であれば各国とも協働しながら、パーソナライズされた危険因子や保護因子の同定や、認知症に関するリスクを軽減させる行動へとつなげる。 |
| Rights 権利 | <ul style="list-style-type: none"> ▪ Japan, as an originator of the Dementia Supporters (Dementia Friends) Program, will introduce and share good practices of the program. ▪ 日本は「認知症サポーター(認知症フレンド)」プログラムの創始国として、世界に対して本プログラムを紹介するとともに、好事例の共有を図る。 ▪ Japan will also collaborate with nations that have the same program, to share experiences and information, and to measure the effect and benefit of the program. ▪ 日本はまた、同様の取組を行っている国々と協働して、情報の共有や、効果検証などを行う。 |
| Risk reduction リスク軽減 | <ul style="list-style-type: none"> ▪ Japan will launch a prospective cohort study with high quality and high efficacy of around ten thousands normal people in order to identify the personal risk factor and protective factor for developing dementia, and implement a risk reduction strategy through the possible collaborative research with the world. ▪ 日本は高効率高品質の1万人規模の前向きコホート研究を開始、各国と協働し、パーソナライズされた危険因子や保護因子の同定や、予防のための行動へとつなげることを考慮する。＜同様に修正＞ ▪ Japan, based on the experiences of clinical researches concerning dementia prevention, such as the prospective interventional cohort study in persons with MCI, and research about community-based primary prevention for dementia, will consider reviewing practices of risk reduction for dementia, to research how to embed them into society, and to share the results across the globe. ▪ 日本は軽度認知障害(MCI)に対する介入コホートや、地域での認知症一次予防に関する研究を開始しており、今後、認知症に関するリスクを軽減するための実践や、それを実際にコミュニティーで推進するための方策などについて研究し、その成果を世界と共有する。 |